



入 監 委 第 1 0 8 号

令和6年11月12日

入 間 市 長 杉 島 理 一 郎 様

入 間 市 議 会 議 長 鈴 木 洋 明 様

入 間 市 教 育 委 員 会 教 育 長 中 田 一 平 様

入 間 市 監 査 委 員 原 嶋 裕 子

同 横 田 淳 一

令和6年度定例監査（第1回）の結果について（報告）

地方自治法第199条第4項の規定に基づき、定例監査を入間市監査基準に準拠し実施したので、同条第9項の規定により、監査結果を報告します。

1 監査の種類

定例監査

2 監査の対象

監査実施期日	監査実施箇所
令和6年10月3日(木)	豊岡配水場、健康福祉センター、東町地区センター、扇町屋地区センター、扇町屋地区センター久保稲荷分館
令和6年10月7日(月)	金子小学校、宮寺小学校、狭山小学校、高倉小学校、金子中学校、武蔵中学校
令和6年10月9日(水)	金子第一保育所、金子第二保育所、高倉学童保育室、金子学童保育室、金子第二学童保育室、狭山学童保育室、宮寺学童保育室

3 監査の対象とした事項及び範囲

令和6年4月1日から実査日までの期間を対象とした、各施設等における財務に関する事務の執行及びその他の事務の執行

4 監査の着眼点

各施設の管理・運営及び利用状況、工事及び委託業務の執行状況、備品の管理状況、公金及び切手等の保管状況、出勤簿、年次有給休暇簿の記載状況等に主眼を置き、事務執行の適法性、効率性及び妥当性の観点から検証した。

5 監査の実施内容

令和6年度の財務等に関する事務の執行について、施設等の状況を確認するため実地監査を実施するとともに、施設概要、予算執行に関する調書等あらかじめ提出を求めた監査資料に基づき、関係職員からの事情聴取と、抽出により関係書類等の実査を行った。

6 監査の結果

監査の結果は、各施設共におおむね良好と認められた。しかしながら、一部には

検討又は改善を要する事項が見受けられたので、次のとおり注意事項及び要望事項を記載する。

(1) 健康福祉センター

- ① 調理実習室の包丁・ハサミの保管状況について、衛生面には気を付けていたが、貸出し団体が限られているとの理由から、使用毎の点検が出来ていなかった。盗難や紛失に対処するため、使用毎の点検を実施されたい。また、種類別に保管する等、整理整頓されたい。(健康管理課・地域保健課)
- ② 施設利用料はキャッシュレス化されていたが、健(検)診料やトレーニング室使用料等についても、キャッシュレス化による利用者の利便性向上と事務効率化を検討されたい。(健康管理課・地域保健課)
- ③ 開設当初に設置されたウッドデッキは、劣化により施設利用者の安全面を考慮して立ち入り禁止にされていた。施設修繕は、従前にとらわれず利用者の安全を第一とした改修方法を計画されたい。(健康管理課)
- ④ 児童発達支援センターについては、入間市教育センターや国立障害者リハビリテーションセンター学院と引き続き連携し、切れ目ない総合支援を実現されたい。(こども支援課)

(2) 地区センター・分館(地域振興課)

- ① 地区センターでは、施設利用の促進として、利用案内ポスターの作成や子どもの居場所づくりに取り組むとともに、複数の証明を1つの窓口で取得でき本庁舎と比較して待ち時間が少ない利点を公民館利用者等へPRしていた。支所と公民館との双方の利用者に対する一体的な利用促進の工夫や努力が見られた。
- ② 現金の管理については、窓口におけるキャッシュレス決済が導入されているが、あまり利用されていないとのことであった。職員が現金を保管するリスクと銀行へ預け入れに行く事務負担を軽減し、施設利用者のサービス向上に資する時間確保のためにキャッシュレス決済の促進に努められたい。
- ③ 東町地区センターの住民事務担当執務室は、狭いスペースの中にパソコン等のOA機器や書類等が置かれ個人情報等の取り扱いがされていた。一人あたりの執務室面積は、職場における労働衛生基準に基づく適切な面積と利用者のプライバシー保護に十分な面積が確保されているかを再確認し、現場職員の声を反映した職場環境の改善を検討されたい。

- ④ 扇町屋地区センター久保稲荷分館では、扇町屋地区センターのサークルと一体的に活動が出来るよう、サークル紹介のコーナーを設置するなど工夫をされていた。地区センターの好事例は地区センター間で共有・横展開するなどし、地区センターの持つ6つの機能を十分に発揮されたい。

(3) 小・中学校（教育総務課、学校教育課）

- ① 各学校では、目指す学校像として地域の特性を活かしたランドデザインを作成し、児童・生徒を伸ばす教職員の努力をうかがえた。
- ② 避難訓練や防犯対策については、各学校で積極的に取り組まれており、消防署や消防団、警察と連携した訓練等を行っている事例があった。各校の取り組み事例を共有し、有効事例は横展開をされたい。
- ③ 学校運営協議会など地域と連携・協働による学校運営の取り組みが始まり、児童・生徒が地域行事等へ参加したり地域団体が学校行事に参加したりするなど、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていた。また、地域コーディネーターによるニーズのマッチングにより、課題解決された事例があった。
- ④ 刃物・薬品の保管状況については、鍵の掛かるロッカー等に保管され、在庫数量と管理簿の数値を抽出突合した結果は一致していた。しかし、狭山小学校では、理科室の薬品管理簿で確認印漏れがあったため、適正な管理に努められたい。
- ⑤ 入間市中学校部活動ガイドラインでは、校長は毎年度、活動方針を策定し、活動方針及び活動計画等を公表するとあるが、公表については確認することが出来なかった。学校ごとに生徒の力を伸ばし優秀な成績をおさめる活動がされているが、保護者の理解や地域との連携のもと活動方針等の達成に向けた適切な運営がされるようガイドラインに従い活動方針を公表されたい。

(4) 保育所（保育幼稚園課）

- ① 避難訓練及び防犯対策については、不審者侵入時の掛け声の工夫（金子第二保育所）や職員の出勤数が少ない時の訓練を実施する（金子第一保育所）など、工夫を凝らし積極的に取り組まれていた。保育所間で取り組み事例を共有し、好事例は各保育所に横展開をされたい。
- ② 現金の管理については、保護者の利便性向上や現金を保管するリスクと銀行へ預け入れに行く事務負担を軽減し、職員が保育に専念する時間をより確保でき

るようキャッシュレス決済の導入を検討されたい。

- ③ 保育事務にタブレットが配置され、子どもたちの情報を保護者と共有するなど、有効に活用されていた。今後は、保育記録用に利用するなど職員の事務効率化にも活用できる環境整備をされたい。

- ④ 金子第一及び第二保育所は、施設の老朽化が顕著である。金子第一保育所では、令和4年度に屋上防水工事が行われたが、雨漏り箇所を応急処置している現状や多湿な職員休憩室等は、修繕では対応できない状況にある。また、受け入れ児童数も定数割れが継続している状況にある。

公共施設マネジメント事業計画に基づき早期に施設統合を進め、安全で快適な保育施設を提供されたい。

- ⑤ 金子第二保育所の園庭にあるブランコは、定期点検により4台中低年齢児用の2台が使用禁止になったとのことである。現在、上部支柱に巻き付けて使用禁止とされているが、子どもたちに最善な対応を検討されたい。

(5) 学童保育室（青少年課）

- ① 避難訓練及び防犯対策について、10回を超える訓練を計画し消防や警察も連携して実施するなど危機管理が図られていた（金子学童保育室・金子第二学童保育室）。一方、消防や警察と連携がなく実施回数2回の学童保育室もあった。入間市放課後児童クラブ安全計画に基づく訓練を全ての施設において実施するとともに、学童保育室間で取り組み事例を共有し、好事例は各学童保育室に横展開をされたい。

また、訓練における児童への指示の仕方は、小学校と学童保育室で情報共有し、児童が混乱することがないように配慮されたい。

- ② 刃物の管理は、児童の手が届かない場所で管理保管されていたが、使用しない包丁の保管があった。リスク排除の観点から、必要の無い刃物等は施設に保管しないことを検討されたい。

- ③ 金子第二学童保育室は、AEDの設置が無かった。AEDは、同じ敷地内の金子学童保育室又は金子小学校から借用するとのことであったが、設置基準等を再確認し設置について検討されたい。